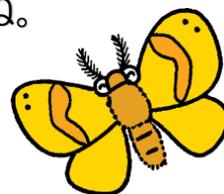


台湾キドクガに気をつけて！！

『台湾キドクガ』の幼虫が学校でも増えています！！

屋外での学習活動や部活動の際には気をつけてくださいね。

台湾キドクガとは・・・



台湾キドクガの幼虫は大きくなっても2cm程度で、背中のオレンジ色の線と黒いコブが特徴です。雑食性ですが、クワディーサー（モモタマナ、コバテイシ）の葉で多く見られます。また、太陽光線を嫌うことから、木の葉の裏側にかくれたり、教室内の日陰を求めて歩き回ります。

台湾キドクガの幼虫（毛虫）は、体表に毒針毛（どくしんもう）とよばれる0.1mmほどの目に見えない毛が無数にあり、幼虫に直接ふれたり、風で飛んできた毒針毛にふれることで毒蛾皮膚炎を発症します。毒針毛は幼虫だけでなく、卵、幼虫の脱皮殻、さなぎ、成虫（蛾）にもあり、さわると刺されます。

DANGER!



【 症 状 】

かゆみや紅斑(赤いブツブツ)などの症状が現れます。皮膚にふれた直後から体の一部にかゆみ、紅斑などが生じる場合(即時型反応)と、その1~2日後にかゆみの強い紅斑や丘疹(皮膚から盛り上がったブツブツ)が生じる場合(遅延型反応)があります。これらの症状には個人差があり、片方だけ症状の出る人や全く症状が現れない人もいます。



【 応急処置 】

- ① かゆみを感じても絶対にかかないでください。
- ② 粘着テープを使って、かゆい場所やその周辺に、貼ったりはがしたりして毒針毛を取り除きましょう。
- ③ 石けんをつけてよく洗い流しましょう。
- ④ 症状が軽ければ、市販の抗ヒスタミン軟こうをぬり、冷やしましょう。
- ⑤ 症状がひどい場合は皮膚科を受診しましょう。

